

耐震化費用を助成

平成28年4月に発生した熊本地震では、倒壊した建物に昭和56年5月以前の古い耐震基準で建築された建物が多数ありました。区では、昭和56年5月以前に建築された建物を対象に、耐震診断や耐震改修工事などにかかる費用の一部を助成します。制度の概要など詳しくは、お問い合わせいただくか、区ホームページをご覧ください。

問合せ 防災まちづくり課耐震化促進係(区役所本庁舎15階) ☎5984-1938



熊本地震による被害の様子

住宅

助成対象

- 昭和56年5月31日以前に建築されたもの
- 延べ面積の半分以上を住宅の用途が占めるものなど
- ※小規模な長屋・共同住宅も対象となります。

まずは簡易耐震診断

無料

簡単な耐震診断や、耐震改修工事費用の大まかな見積もりなどを無料で行います。区民事務所や防災まちづくり課にあるパンフレットをご覧くださいの上、同封のハガキで申請してください。

分譲マンション

助成対象

- 昭和56年5月31日以前に建築されたもの
- 3階以上のもの
- 2以上の区分所有者がいること など

まずはアドバイザー派遣

最大43万円の助成

耐震診断、補強の必要性や合意形成のアドバイスを行う建築士の派遣に対し、費用の全部または一部を助成します。

助成額 1回の派遣につき限度額4万3000円(10回まで)

耐震診断・実施設計

最大30万円の助成

建物がどの程度地震に耐えられるか調査や計算をします。それをもとに補強の方法を検討し、図面などを作成します。

助成額 耐震診断…費用の3分の2。限度額8万円
実施設計…費用の3分の2。限度額22万円

耐震診断・実施設計

最大424万5000円の助成

図面などに基づいて建物の外観調査などを行い、耐震性能を評価する簡易診断と、コンクリート強度なども調査する耐震診断があります。耐震診断が終わると、設計の申請ができます。延床面積により上限があります。

助成額 簡易診断…37万2000円～74万5000円
耐震診断…費用の6分の5。限度額150万円
実施設計…費用の6分の5。限度額200万円

耐震改修工事

最大100万円の助成

区の審査で合格した実施設計に基づいて工事を行います。

助成額 費用の3分の2。限度額100万円 ※住民税非課税の世帯などは、費用の5分の4。限度額120万円。

耐震改修工事

最大3000万円の助成

延床面積により上限があります。

助成額 費用の3分の2。限度額3000万円



自転車シミュレーターで交通ルールを学ぼう!

自転車シミュレーターの特徴

- 小学生から高齢者まで、利用者に応じたコースが選択できます
- 実際の交通状況に近い市街地の走行体験ができます
- 自転車クイズを通して、交通ルールやマナーを学ぶことができます

問合せ 安全対策係 ☎5984-1309

自転車シミュレーターの設置施設一覧

施設名	電話番号
①大泉交通公園	3924-0996
②学校教育支援センター	6385-9911
③石神井公園ふるさと文化館	3996-4060
④桜台体育館	3992-9612
⑤平和台体育館	5920-3411
⑥大泉学園町体育館	5905-1161
⑦大泉リサイクルセンター	3978-4030

※利用時間・方法など詳しくは、各施設へお問い合わせください。

※②～⑦の施設には、9月30日(木)まで設置します。その後は設置施設が変わる予定です。



3月の放射線量測定結果

詳しい測定結果は、区ホームページをご覧ください。▶問合せ:環境規制係 ☎5984-4712

【測定点】区立12施設 【測定値】単位:マイクロシーベルト/時 【基準値】0.24マイクロシーベルト/時
●地表面から50cm 0.025~0.073 ●地表面から5cm 0.026~0.071